



平成 30 年 2 月 9 日

各 位

大阪府中央区淡路町三丁目 6 番 3 号
ステラケミファ株式会社
代表取締役 深田 純子
(コード番号 4109 東 1)

(問合せ先) 取締役執行役員経理部長 中島 康彦
TEL 06-4707-1512

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成 29 年 8 月 8 日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 平成 30 年 3 月期 通期連結業績予想数値の修正 (平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日)
(単位：百万円)

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 親会社株主に 帰属する 当期純利益 | 1 株当たり 当期純利益 |
|--------------|--------|--------|--------|-------------------------|-----------------|
| 前回発表予想 (A) | 33,300 | 4,700 | 4,700 | 3,300 | 268 円 20 銭 |
| 今回修正予想 (B) | 33,400 | 2,100 | 1,900 | 1,400 | 110 円 38 銭 |
| 増減額 (B-A) | 100 | △2,600 | △2,800 | △1,900 | — |
| 増減率 (%) | 0.3 | △55.3 | △59.6 | △57.6 | — |
| (ご参考) 前年同期実績 | 29,850 | 4,372 | 4,154 | 2,824 | 234 円 56 銭 |

2. 修正の理由

販売面では、活況な半導体市場を背景に半導体液晶部門の出荷が好調を維持し、前回予想を上回る出荷量が見込まれますが、前回予想に反し主原料の無水フッ酸価格が下期より再急騰する動きを見せており、足元においても過去最高水準を上回る勢いで上昇を続けております。

原料高騰を受け、価格転嫁を最重要課題として対応を進めているのはもちろんのこと、無水フッ酸の供給不足が深刻化し各メーカーが原料調達難に陥る中、当社においては増大する顧客需要に最大限応えるために必要な原料確保および製品供給を着実に実施し、出荷量の増加と利益の確保につなげてまいりました。しかしながら、そうした取り組みについても原材料価格が過去に類を見ない水準にまで高騰している環境下において、当期中に減益幅を補うには至らないと判断し、業績予想を上記のとおり修正いたします。

なお、配当予想につきましては、平成 29 年 4 月 28 日公表の内容から変更はありません。

【見通しに関する留意事項】

上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因により予想数値と異なる場合があります。

以 上